

取場生産点の闘いで 85春闘勝利きりひらくぞ 4/6 県青年協が春闘総決起集会



4月6日、85春闘千葉県、青年婦人労働者総決起集会が本町公園で開催され、動労千葉青年部をはじめ、国労など、官公労、民間単産青年労働者約八〇〇名が結集し、成功裡に終了した。

集会は、5分咲きという桜花に囲まれた、本町公園で、春闘の一〇年来の敗北状況をうち破るべく、85春闘を先ず県内青年労働者の総決起で闘う決意の場として開催された。

冒頭、開会のあいさつを県婦人協の代表が宣言し、つづいて、主催者あいさつにたった県青婦協議長は、

「青婦協としても、85春闘を勝利するため、県内交流討論集会などを開催し、取り組み、春闘をつくりあげてきた。そして本日の集会を皮切りに、行革合理化、人勧凍結、教育臨調、軍事大国化、改憲攻撃など、われわれをとりまく情勢をしつかりとみすえ、官民統一した力で85春闘に決起し、この間の低迷する春闘を打破し、大幅賃上げをかちとろう」と発言した。

このあと、県労連を代表して、井原議長のあいさつをうけ、集会の基調を青婦協事務局長がたち、要旨次のように提起した。

「反動中曾根の攻撃は、軍事大国化―改憲に向け軍事費の突出と逆に福祉の切り捨てを強行してきている。とりわけ、八五年は、国鉄・教育改革など強力に推し進めることを決意している。」

その中でも国鉄の職場にかけられてきている攻撃はすさまじいものであり、この攻撃をとおして労働運動の解体を狙ってきている。われわれは、こうした情勢のもとでの85春闘であり、最終的には、労使の力関係で決まる状況を労働者立場にたつて闘いぬかなければならない。県青婦協は、これらの闘いの先頭にたつて精一杯闘いぬこう」と結んだ。

さらに基調提起を受けたあと、結集した単産を代表して、電通と私鉄から決意表明がされ、最後に元気よく全体で団結ガンバローを斉唱し、本町公園から千葉駅までデモを貫徹し、成功をかちとった。



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

60名が参加して 青年部ボリリング大会

「60・3」「3・24三里塚」闘争を、動労千葉の最先頭で闘いぬぎ、担いぬいた青年部は、その奮闘もさめやらぬ4月4日、本部青年部主催によるボリリング大会を開き、日頃のうで自慢も含め、とりまく情勢の厳しさを吹き飛ばすような熱戦が展開された。

記録は次の通りである。

* 団体戦

- 一位・成田支部青年部 A ・一八四九点
 - 二位・佐倉支部青年部 ・一七三五点
 - 三位・幕張支部青年部 A ・一七一九点
 - 四位・新小岩支部青年部 ・一六六九点
 - 五位・木更津支部青年部 ・一六六二点
- * 個人タイトル
- H・G賞・角 昌彦・津田沼支部・一八四点
 - B・B賞・井上哲郎・勝 浦支部

|| 当面する主なスケジュール ||

- 11日 サークル協拡大運営委員会（13時）
- 12日 一九八四年度交渉部長会議（10時）
- 13日 第七回支部代表者会議（13時）
- 16日 第二回拡大青年部長会議（13時）14日12時
- 18日 85春闘勝利・首切り「三本柱」攻撃粉碎・謀略的組織破壊攻撃粉碎・
- 19日 動労千葉総決起集会（17時30）
- 24日 乗務員分科・指導員部会結成総会（13時）
- 26日 第三回鈴木幹男君裁判闘争（10時）
- 27日 サークル協春季ソフトボール大会（9時）
- 27日 一九八四年度組織・教宣部長会議（10時）
- 第二期動労千葉労働学校開校式ならびに第一期講座（13時30分）